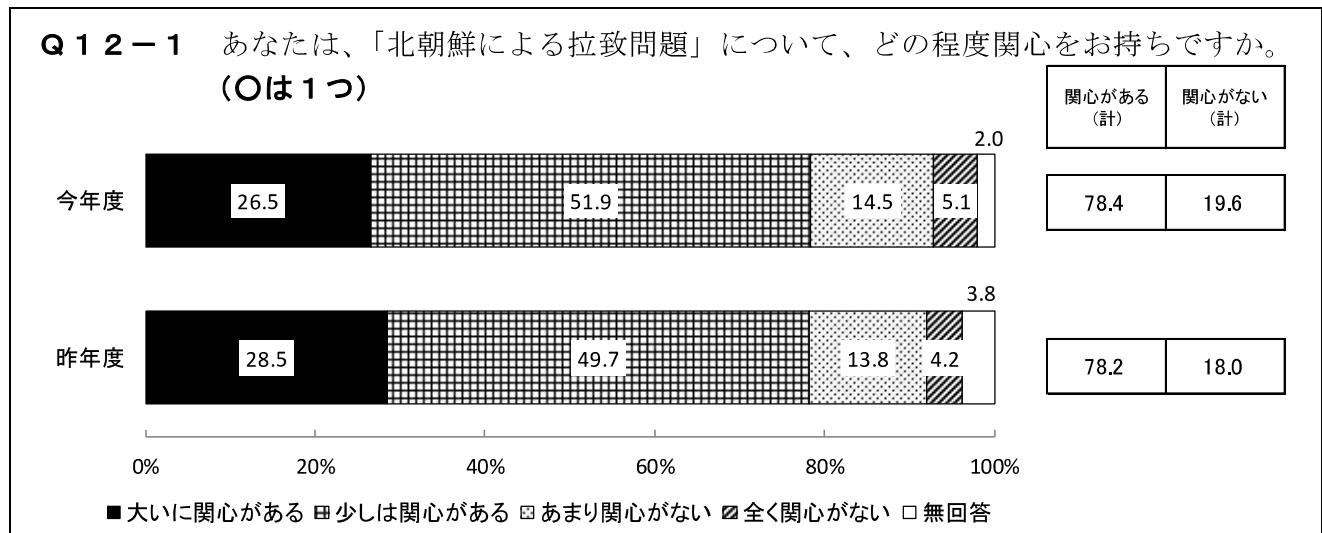


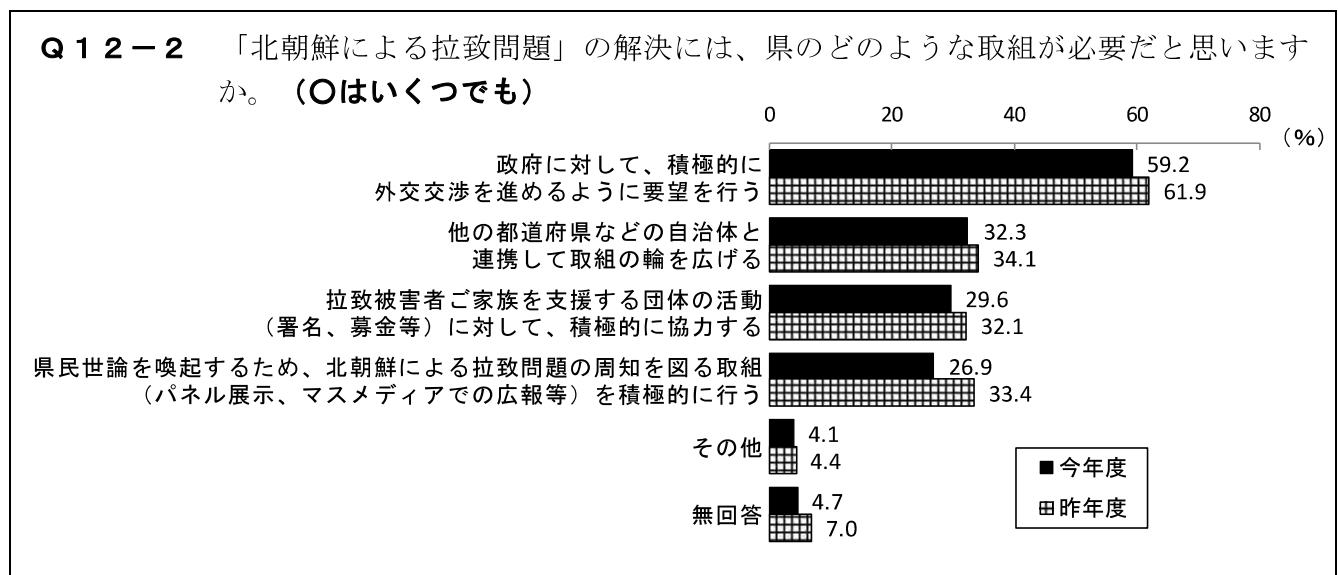
12. 北朝鮮による拉致問題について

12-1. 「拉致問題」についての関心



「北朝鮮による拉致問題」について、「大いに興味がある」と「少しは興味がある」を合わせた『関心がある(計)』が78.4%、「あまり興味がない」と「全く興味がない」を合わせた『関心がない(計)』が19.6%と、関心を持つ人の割合が高くなっている。昨年度と比較して目立った差異はみられない。

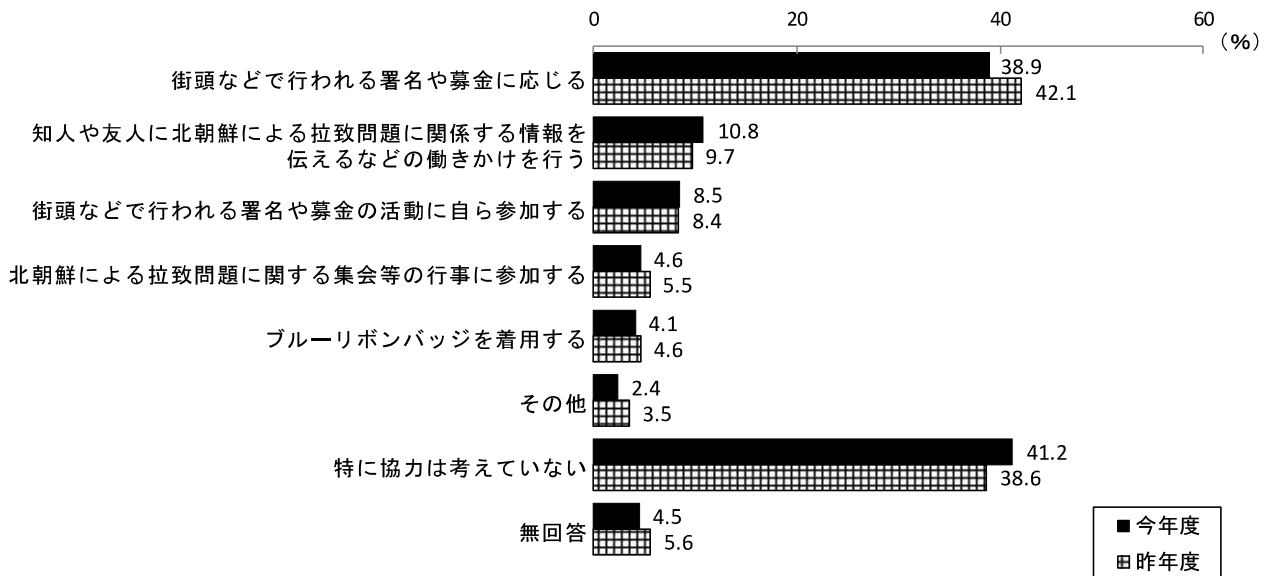
12-2. 「拉致問題」の解決のために必要な取組



「北朝鮮による拉致問題」の解決のために必要な取組について、「政府に対して、積極的に外交交渉を進めるように要望を行う」が59.2%と最も高く、次いで「他の都道府県などの自治体と連携して取組の輪を広げる」が32.3%の順となっている。昨年度と比較すると、「県民世論を喚起するため、北朝鮮による拉致問題の周知を図る取組(パネル展示、マスメディアでの広報等)を積極的に行う」が6.5ポイント低下している。

12-3. 「拉致問題」の解決に向けての今後の協力

Q 12-3 「北朝鮮による拉致問題」の解決に向けて、あなたは、今後どのように協力していきたいですか。（〇はいくつでも）



「北朝鮮による拉致問題」の解決に向けて今後協力していきたいことについて、「街頭などで行われる署名や募金に応じる」が38.9%と最も高く、次いで「知人や友人に北朝鮮による拉致問題に関する情報を伝えるなどの働きかけを行う」が10.8%、「街頭などで行われる署名や募金の活動に自ら参加する」が8.5%の順となっている。また、「特に協力は考えていない」は41.2%となっている。昨年度と比較すると、「特に協力は考えていない」が2.6ポイント上昇し、「街頭などで行われる署名や募金に応じる」が3.2ポイント低下している。